ＳＲノート　2019年　　山下塾

学習アドバイス　第19回　　水道橋山下塾　31・3.・11

1.受験アドバイス

3月も真ん中です。そろそろ桜が咲き始める頃ですね。この季節を過ぎると全国の受験生が一斉に駆け出します。勉強と仕事との調整が必要です。1日が24時間、仕事が10時間、睡眠が7時間と計算すれば残る7時間の使い方が大事です。今の時期なら毎日3時間は必要ですよ。勤務前に勉強することをおすすめします。朝の時間を有効に使い、電車の中でも問題を中心とした勉強に切り替えます。問題を解く。テキストを丁寧に読む。これが受験の王道。

■再受講生

3月に入ると一気に時間が加速することは体験済みですね。勉強時間も徐々に増やしていきましょう。平日クラスも、土曜日クラスも、皆さんの熱気でいっぱいです。

土曜日クラスで9時には問題を解いている方や、平日クラスで仕事に追われながらも時間を調節されている方を沢山見ます。私もこれからは合格へと旗を振りながら講義を行います。

試験合格の秘訣の一つに、「点数問題」にこだわる、ということがあります。特に保険関係は被保険者や保険料の科目横断を行い、確実な点数を取る勉強をしましょう。わからない箇所にこだわらず、点数が取れる箇所を少しずつ広げてください。5月の模擬試験を積極的に利用して、取れる問題は取る勉強をしましょう。

■初級クラス

日曜日は厚生年金の老齢でした。本当に理解しにくい個所です。ただし、択一は1問2問の問題です。選択対策で用語は押さえますが、あまり深入りしないか給付です。

私は1回で受かるんだ！と強い信念を持ってください。

3月に入り、講義スタイルが大きく変わりました。横断講義です。社労士試験は科目間の横断で多くの受験生が混乱します。日本国憲法25条が土台で医療、年金、介護等へと道が築かれています。

毎日、問題を解くこと。授業の30分前に来て予習をすることです。今解らなくてもいずれは理解できる。用語の大群に負けるか！！

■通信

通信の方は、ライブの講義に慣れてきましたか？教材の到達が収録の日から少し遅れるため、季節感がずれていると思います。でもライブの授業雰囲気は伝わっているはずです。

平日クラスの皆さんも、毎回本気の本気で勉強しています。昨年も合格祝賀会で複数の通信の方から合格の挨拶をされました。嬉しい限りです。講義では皆さんのことも常に意識しています。本日も国民年金演習、しっかり解説します。

2.合格体験記　　（一部内容は削除しています）

合格（受験回数：２回）
１年目：合格講座
２年目：山下クラス

【勉強環境】
仕事面：フルタイム
上司への社労士受験通知の有無：直属の上司のみに通知
通勤時間：片道 1.5 時間程度
勉強場所：出勤前喫茶店、通勤時間、昼休み、会社帰りの喫茶店、休日は図書館
同居家族：有り

【勉強を始めたきっかけ】
人事部門に所属しており、確かな知識を身につけたいと思い、チャレンジを決意しました。
■１年目
独学は考えていませんでしたが、山下先生が担当講師だから、という訳でもなく、会社帰りに通える資格学校を選択した結果、LEC になりました。そこで出会ったのが山下先生でした。１年目は不合格となりましたが、要因は、「勉強していたつもり」になっていたことだと思います。通学するだけで精一杯でした。受かるための勉強をしていなかったように思います。
■２年目（山下クラス）
試験を受けてから数日後に、山下先生に結果報告に伺いました。既に山下先生の平日夜間の講座に申し込んでいましたが、「山下クラスにきなさい」と言われ、家族の了解を得て、山下クラスに通うことに決めました。平日の講座を申し込んだ理由は、毎週休日・祝日に家を空けるのは厳しいだろうと思ったからです。
■環境面での１年目と２年目の違い
一番の違いは、一緒に勉強できる仲間ができたことです。山下クラスの開講日に、山下先生が一言「仲良くしてあげて」とクラス生に声を掛けてくれたことで決まりました（笑）。日曜日に朝早く家をでるのは、しんどいと思う一方で、クラスに行くことがとても楽しかったのも事実です。

■勉強面での１年目と２年目との違い

１年目はIC レコーダーで録音した講義を繰り返し、聞き直しました。テキストの読み込み回数については、２年目より１年目の方が多かったように思います。過去問、1 問 1 答、123 をメインに勉強していきました。最後は 123 頼みでした。２年目はテキストの読み込み、過去問をベースに取り組みました。苦手科目もわかっていたので、その科目については、重点的にテキストの読み込みを行いました。取り組むテキストの幅は決して広げませんでした。勉強時間の確保という面では、２年目は夜から朝へ勉強する時間をシフトし、自分でコントロールできる朝の勉強時間を意識的に増やしました。具体的には、７時には会社近くの喫茶店で勉強を始め、朝方だけで、通勤時間を含め、2.5 時間程度勉強しました。早朝の喫茶店での勉強は、同じく勉強している社会人が多いので、よい刺激になりました。隙間時間については、電車の待ち時間など１問１答を持ち歩いて勉強しました。また、その場、その場で勉強する内容を決めて行動しました。

■精神的にツライ時期について

長い勉強期間です。社会人ならば、「仕事が忙しい」等、勉強できない時期が必ずあると思います。精神的にツライ時期をどう乗り切るか・・・は、とにかく自分の気持ちに負けない・甘えないこと、そして、できる限り山下クラスに行くことをお勧めします。山下クラスに行けば、一緒に頑張っている仲間がいます。気持ちを「頑張っている時の自分」に戻しやすくなります。

■試験直前期

試験１週間前がちょうど夏期休暇と重なり、勉強時間に充てることができました。この時期はＬＥＣの自習室で勉強しました。試験直前の３日間は、過去３回の模試を実際の試験時間に合わせて行いました。身体を試験時間に慣らすという意味では、大切だったと思います。

■試験結果を受けて

結果だけ言えば、合格することができました。嬉しいというよりもほっとした気持ちでいっぱいです。そして、結果がわかってからというもの、お世話になった皆さんに「ありがとう」という感謝の言葉をたくさん伝えて（言って）います。それこそ合格して嬉しいという言葉よりもずっと多く。ひとりでは乗り越えられないのが社会人の資格試験へのチャレンジです。家族、友人、たくさんの方の協力を得て、合格を勝ち取ることができました。そして、午前の選択式で「しまった・・・」と思っても、午後の択一を諦めなかったことが勝因だと思っています。

「社労士の勉強は楽しい」というのが、この 2 年間の一貫した気持ちです。山下先生や勉強仲間の存在が大きかったように思います。ツライだけのことは続きません。折角なら、勉強する過程も楽しみましょう！ありがとうございました。

以上

合格体験記　　女性

1 合格したときの気持ち

ホッとしたことと同時に今までの努力が報われたことが素直に嬉しかったです。
今年を最後にしよう！と考えていましたので、怖くて自己採点もしませんでしたし、発表日の翌日、郵送で送られてくるまで結果はわかりませんでした。

2 挫折しそうになったとき

あえて勉強するのをやめて、好きなこと・やりたいことをする。何日かするとなぜか勉強をしてないことに寂しさを感じ、また再開する。最後は、いろんなことを犠牲にして作り出した 1000 時間、いや 2000 時間を越える勉強時間を無駄にしたくないという一心でやりました。

3 山下先生の講義

条文を大切にしていて、初心者でも分かりやすいです。模試、試験中に、なんだっけ？習ったような・・・と考えると、その時の授業の様子、先生の振りも含め、ジャジャジャーンと降りてくるような、印象に残る講義。また、特に上級クラスですが、先生と受講生が一帯となってクラスをつくっているような雰囲気、仲間という感じがありあったかい。いつも私たちを合格させるためにはどうしたらよいかを常に考え、行動されているのが、授業、特別講座などに溢れている。

4 勉強時間の作り方

月曜～金曜 915～1700 までの勤務。祝日は出勤につき、GW も仕事。4 才の息子あり、平日は主人は帰りが遅く期待できないという状況。私が自由に使えるのは、朝と通勤時間。
【平日】
朝 5:30～7:20　通勤時間 1 時間 30 分　この時間に勉強をしてました。通勤時間のうち、テキストを広げる場所があるときは一問一答や過去問など問題集。歩いているときは、講義を 1.5 倍速くらいで聞く。電車を待ったりする時間、意外に長いんですよ。
【週末】
土曜日 :朝 6 時～息子が起きる時間まで(朝 9 時前後)
日曜日:夕方までフリー。日曜日は、何もなければ、基本、息子は主人と。

【直前期間】
上記に加え、平日の夜、ご飯が終わったあとは、息子にテレビを見せ、私は隣の部屋で 2 時間ほど勉強してました。

最後に

本当に、運もかなりあったなと思います。選択、直前やった問題やたまたま知っていたものもでましたので。